



選手平均20・25歳若いチームで飛躍を誓う宮崎銀行の新体制の目、宮崎銀行本店

宮銀女子陸上部 新体制発表

佐伯新監督「クイーンズ駅伝出る」

宮崎銀行女子陸上部は3日、宮崎市で新体制を発表。佐伯尚彦新監督(38)は「クイーンズ駅伝」のベテランのベテラン(GGN)の中止は残念だが、新しい体制でお互いを高め合い、クイーンズ(全日本実業団女子)駅伝に出場したい」と抱負。新入部の小林高出身、福川侑花選手(18)は「地元の方々に元気を与える走り」と誓った。

本格始動8年目、初代監督の西村功氏(現旭化成陸上部監督)が退任し、創部時からのコーチだった佐伯新監督が就任した。また、初めて女性マネージャーを採用し、かつての強豪、宮崎沖電気陸上部でマネージャーを務めた今村紀子さん(56)が就任した。

岩瀬美實子部長(同行人事部長)は新体制の狙いを「目標とするクイーンズ駅伝出場がかなわす、体制を一新する必要があり、コーチとして支えてきた佐伯新監督が適任。若いチームの精神的なサポート役に経験豊富な女性マネージャー



新人の福川侑花選手

前監督の西村氏が旭化成監督に就任した。

西村さんの監督就任を私たちがうれしく思っています。自分たちの頑張りを西村さんに届け、旭化成陸上部の活躍から刺激を受けたいです。もちろん延岡合宿も続けさせてもらい、宮崎と延岡、女子と男子の双方から陸上で宮崎を盛り上げていけたらと思います。

誇れるチームに「目標持って、前へ」

監督 一問一答
抱負を。
2月から監督を拝命し今月、当選初のマネージャー、新入部員が加入し、新体制でスタートを切ります。モチベーションは目標としたくなる、応援したくなる、誇りとしたくなるチームづくりです。チームの価値、選手の価値を高めていきたいと思います。宮崎銀行のファン力につながればと思います。企業スポーツとしての存在意義を示していきたいと強く感じています。

新チームの特徴は、昨年に続き非常に若いチームで、伸びしろ、可能性は大きく感じています。一方で、

経験が少ない部分があり、もちろんが駅伝などで出てしまふ点もあります。一人ひとりの課題や長所をしっかりと伸ばせるよう、明確な目標行動目標を持って、前へ前へ進んでいきたいと思っています。

新型コナの影響。大会が無くなっている現状で、この大会があってもいいように、そのための準備はしていきたいと思っています。スポーツに携わる部として、スポーツを通して元気を与える役割があると考えています。結果だけでなく、日々の自己研さんにおいて培う、前向きな、乗り越える力、元気を波及できればと考えています。



抱負を語る佐伯監督

佐伯尚彦(タカキ・たかひ) 熊本県出身。熊本府高一学院入。04年4月、熊本自衛隊入隊。05年5月からコナ電子金属陸上部、12年10月から宮崎銀行女子陸上部コーチ。06年北海道マラソン4位。09年延岡西日本マラソン6位など。